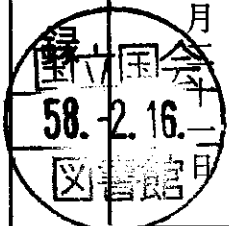


官報

昭和五十八年一月二十一日

第九十七回 参議院會議録追



カモシカによる被害の補填等に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四条によつて提出する。

昭和五十七年十二月二十三日

参議院議長 徳永 正利殿
藤原 房雄

カモシカによる被害の補填等に関する質問主意書

本院は、昨年十一月二十八日、ニホンカモシカ（以下カモシカという）が植栽幼樹木等に激甚な被害を加えている実情に鑑み、その抜本的な解決策を求めて質問主意書を提出した。

また、去る第九十六回国会の参議院予算委員会における同趣旨の質疑に対し、鈴木前内閣総理大臣は「環境庁、文化庁さらに林野庁、この関係各省の間で被害防止と、被害が発生した場合における補償の問題につきまして、政府として責任のある解決策を出すように、私からもこれを指示いたしまして促進するようにいたします。」（同委員会会議録第九号十三頁）と答弁している。

しかるに、政府は、未だに効果的な対策を講じておらず、とりわけ損失補填問題の解決については何等の前進も見せていない。

これでは、これまで激甚な被害を被つてきた林業関係者が納得するところとならないのは当然である。そればかりか、損失補填の問題を曖昧にしたままでは、カモシカの保護と被害防止の両立を図るための措置として、政府が囁り物入りで進めている保護地域の設定についても、これからの予

定地域のほとんどが広範な民有林地域であることからみて、その設定作業にも大きな支障をきたすものとなることは明白である。

関係地域においては、積年の被害の影響で造林意欲の低下は著しいものとなつており、これが、被害激甚地の放棄面積の拡大となつて現われ、加えて、昨今の林業をとりまく厳しい情勢が被害林業者の経営をさらに大きく圧迫するところとなつてい

よつて、本件の早期解決を図るため、次の諸点について質問する。

一 被害の補填について

1 カモシカによる被害の補償については、文化財保護法第八十条第五項および第六項にいう損失補償の規定を適用できないのか。類推解釈による適用の可能性も含めて明確にされたい。

もし、適用できないとするならば、その理由を明示するとともに、国による補償措置は、国の予算に係わることであることからみて、政府自らが行現行の文化財保護法を直ちに改正し、法的不備を正すべきであると考へるものであり、また、そうすることが、適法行為による損失に対して、その補償を義務付けた憲法第二十九条第三項の規定を尊重することにもなるかと考へるが、その用意はないか。なお、これまでの逸失損については、別途何等かの補填措置を講ずべきものと考へるがどうか。

2 昭和五十四年八月三十一日の環境庁、文化庁、林野庁の三庁による合意によれば、カモシカによる被害の補填は「現行制度・施策の適切な運用により対処する」となつてい

るが、この「現行制度・施策」とは、具体的に何を意味しているのか。また、その場合、文化財保護法第八十条第五項および第六項にいう損失補償の規定は機能することになるのかどうか明示されたい。

3 昭和五十六年十二月十八日付内閣答弁書（内閣参賀九五第一六号）においては、損失補償についての申立書に関し、その取扱いを検討している旨の回答がなされたが、その後、すでに一年を経過した今日においても未だに決定書が交付されていない。交付が著しく遅れている理由は何か。

4 カモシカによる被害が、文化財保護法にいう損失補償の規定を適用できるものとするならば、前項にいう決定書の交付の著しい遅れは、行政事件訴訟法に規定された不作為の違法に当たると思われるがどうか。

また、いずれにせよ、前項の申立書に対しては、損失補償に應ずるのか、あるいは「棄却」「ないしは」「却下」するのかわいことについて、文書でもつて速やかに明確な回答を示すべきものと考へるがどうか。

保護地域の設定について

1 前述の三庁合意によれば「カモシカの生息している地域を順次区分の上、保護地域を計画的かつ可及的速やかに設けるものとする」となつてい

るが、現在、すでに保護地域の設定を完了している地域および今後設定を予定している地域はどこか。

2 今後、保護地域として設定する予定の対象地域に民有林が相当範囲にわたつて包含されていると聞くが実情はどうか。

また、この場合、保護地域内においてはカモシカによる被害が発生することが考へられるが、そのときの補償措置をどう考へているか。なお、その際の補償措置については、当該森林所有者が納得できるものでなければ、今後の保護地域の設定作業も円滑に進められぬものと思われるが、どう対処してゆくか。

右質問する。

昭和五十八年一月二十一日

内閣総理大臣 臨時代理
国務大臣 齋藤 邦吉

参議院議長 徳永 正利殿

参議院議員藤原房雄君提出カモシカによる被害の補填等に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員藤原房雄君提出カモシカによる被害の補填等に関する質問に対する答弁書

一 について
1 及び2 文化財保護法第八十条第五項の規定は、史跡、名勝、天然記念物の現状変更等が不許可等とされた場合について当該不許可等により通常生ずべき損失を補償することとするものであり、御指摘のカモシカによる被害に同項を適用して損失を補償することについては、不許可等と被害との因果関係等種々困難な問題がある。また、文化財保護法の改正は考へていない。

被害の補填問題については、被害防止対策の実施によつてカモシカによる被害を防止することが第一であり、このため防護柵の設置、ポリネットの装着、忌避剤の塗布等の被害防止事業に対する助成を行い、これらによつても被害が防止できない場合には、被害の状況等に依つて麻酔銃等の使用による個体数調整を認め、これに対して助成を行う等可能な限りの配慮をしてきたところであり、今後とも、できる限りの努力を重ねてまいりたい。

なお、カモシカ被害跡地が復旧造林を必要とする状況に至つた場合は、右の被害防止対策を講じた上で現行の造林補助制度を適切に運用し対処していくこととしている。

昭和五十八年一月二十一日 参議院会議録追録 審査報告書(継続案件)

対してはその旨を説明しているところである。
なお、本件については、行政事件訴訟法にいう不作為の違法の問題は生じないものと考えられる。

二について

1 カモシカの保護地域については、既に下北半島地域、北上山地地域、北アルプス地域、南アルプス地域及び白山地域に設定を完了しており、今後、北奥羽山系地域、鈴鹿山系地域、紀伊山地地域、四国山地地域はか敷か所に設定を予定している。

2 今後設定を予定している保護地域については、範囲等について、現在、順次作業を進めているところであるが、保護地域内でのカモシカの保護及び被害防止対策については、関係者と十分協議して適切に対処してまいりたい。

審査報告書

行政書士法の一部を改正する法律案(継続案件)

右については、審査を終わらなかつた。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

地方行政委員長 上條 勝久
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本法律案については、第九十六回国会開会中において趣旨説明を聴取した。

また、同開会後においては、資料の収集に努めたが、審査を終了するに至らなかつた。

審査報告書

貸金業の規制等に関する法律案(継続案件)
右については、審査を終わらなかつた。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

大蔵委員長 河本嘉久蔵
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本法律案については、第九十六回国会開会中において、発議者大原衆議院議員から趣旨説明を聴取した後、発議者大原衆議院議員及び関係当局並びに衆議院法制局当局に対し、質疑を行った。次いで閉会中においては、資料の収集等に努めたが、審査を終了するに至らなかつた。

審査報告書

出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律の一部を改正する法律案(継続案件)

右については、審査を終わらなかつた。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

大蔵委員長 河本嘉久蔵
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本法律案については、第九十六回国会開会中において、発議者大原衆議院議員から趣旨説明を聴取した後、発議者大原衆議院議員及び関係当局並びに衆議院法制局当局に対し、質疑を行った。次いで閉会中においては、資料の収集等に努めたが、審査を終了するに至らなかつた。

審査報告書

女子教職員の出産に際しての補助教職員の確保に関する法律の一部を改正する法律案(継続案件)

右については、審査を終わらなかつた。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

文教委員長 片山 正英
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本法律案は、第九十四回国会に提出され、同国会において趣旨説明の聴取、質疑等を行ったものであるが、第九十六回国会においては、第九十五回国会に引き続いて資料の収集等を行った。しかし、なお慎重な審査を必要としたため、閉会中も継続して審査を行うこととした。

審査報告書

学校教育法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案(継続案件)

右については、審査を終わらなかつた。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

文教委員長 片山 正英
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本法律案は、第九十四回国会に提出され、同国会において趣旨説明の聴取、質疑等を行ったものであるが、第九十六回国会においては、第九十五回国会に引き続いて資料の収集等を行った。しかし、なお慎重な審査を必要としたため、閉会中も継続して審査を行うこととした。

審査報告書

貨物自動車に係る道路運送秩序の確立に関する特別措置法案(継続案件)

右については、審査を終わらなかつた。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

運輸委員長 桑名 義治
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本法律案については、第九十六回国会において提出され、同国会において、趣旨説明を聴取した。

また、閉会中において、資料の収集等を行ったが、審査を終了するに至らなかつた。

審査報告書

昭和五十四年度一般会計歳入歳出決算、昭和五十四年度特別会計歳入歳出決算、昭和五十四年度国税収納金整理資金受払計算書、昭和五十四年度政府関係機関決算書(第九十四回国会提出)(継続案件)

昭和五十四年度国有財産増減及び現在額総計算書(第九十四回国会提出)(継続案件)

昭和五十四年度国有財産無償貸付状況総計算書(第九十四回国会提出)(継続案件)

昭和五十五年度一般会計歳入歳出決算、昭和五十五年度特別会計歳入歳出決算、昭和五十五年度国税収納金整理資金受払計算書、昭和五十五年度政府関係機関決算書(第九十六回国会提出)(継続案件)

昭和五十五年度国有財産増減及び現在額総計算書(第九十六回国会提出)(継続案件)

昭和五十五年度国有財産無償貸付状況総計算書(第九十六回国会提出)(継続案件)

右については、審査を終わらなかつた。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

決算委員長 竹田 四郎
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中及び同国会閉会中において、表記の件に関し、政府当局及び参考人の出席を求め、全般的な質疑を行った後、通商産業省、経済企画庁、中小企業金融公庫、中小企業信用保険公庫、法務省、裁判所、農林水産省及び農林漁業金融公庫の決算について審査を行ったほか、委員派遣を行い、また鋭意資料の収集に努めたが、審査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

地方行政の改革に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

地方行政委員長 宮田 輝
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、資料の収集等に努めたが、その対象が広範多岐にわたつて
いるため、調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

国際情勢等に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

外務委員長 増田 盛
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、国際情勢等に関する当面の諸問題について資料の収集等に努めたが、調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

租税及び金融等に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

大蔵委員長 戸塚 進也
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、租税及び金融等に関する各種調査資料の収集を行つたが、調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

社会保障制度等に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

社会労働委員長 目黒今朝次郎
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、関係資料を収集する等鋭意調査に努めたが、問題が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかつた。

調査報告書

労働問題に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

社会労働委員長 目黒今朝次郎
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、関係資料を収集する等鋭意調査に努めたが、問題が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかつた。

調査報告書

農林水産政策に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

農林水産委員長 下条進一郎
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中において、農畜水産物の輸入自由化・枠拡大問題に関する件についての申入れを委員長から政府に対して行つたほか、当面の農林水産行政に関し、資料を収集する等鋭意調査に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかつた。

枝にわたるため調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

予算の執行状況に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

予算委員長 土屋 義彦
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、昭和五十七年度一般会計補正予算及び昭和五十七年度特別会計補正予算の審査にあたつていたため、予算の執行状況に関する調査を行うことができなかった。

標記の件に関しては、財政、経済関係に関する資料の収集に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

災害対策樹立に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

災害対策特別委員長 福岡 知之
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中において、関係資料を収集する等鋭意調査に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

当面の物価等対策樹立に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

物価等対策特別委員長 片山 甚市
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中において、当面の物価問題等に関する各種調査資料の収集に努めたが、調査の対象が広範多岐にわたるため調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

公職選挙法改正に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

公職選挙法改正に関する特別委員長 福岡日出磨
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、資料の収集等に努めたが、その対象が広範多岐にわたつて
いるため調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

科学技術振興対策樹立に関する調査
右の件については、調査を終りなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

科学技術振興対策特別委員長 中野 明
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中資料の収集整備に努める等鋭意調査を進めてきたが、調査の内容が広範多岐にわたつて
いるため結論を得るに至らなかつた。

昭和五十八年一月二十一日 参議院会議録追録

調査報告書 調査報告書(継続事件)

四

調査報告書
公害及び環境保全並びに交通安全対策樹立に
関する調査
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

公害及び交通安全
対策特別委員長
宮之原貞光

参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十七回国会開会中、資料の収
集を行う等鋭意調査に努めたが、問題が広範多岐
にわたるため、結論を得るに至らなかつた。

調査報告書

エネルギー対策樹立に関する調査
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

エネルギー対
策特別委員長
山崎 竜男

参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本特別委員会は、第九十七回国会開会中、関係
資料の収集等鋭意調査に努めたが、その対象が広
範多岐にわたるため、調査を終了するに至らな
かつた。

調査報告書

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に関す
る調査
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

沖縄及び北方問題に
関する特別委員長
佐々木 満

参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本特別委員会は、第九十七回国会開会中、沖縄

及び北方問題に関する資料の収集に努めたが、そ
の対象が広範多岐にわたつてゐるため、調査を終
了するに至らなかつた。

調査報告書

国の安全保障に関する調査
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十二月二十五日

安全保障特別委員長
堀江 正夫

参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本特別委員会は、第九十七回国会開会中、国の
安全保障に関する諸問題について資料の収集等に
努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調
査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

国家行政組織及び国家公務員制度等に関する
調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

内閣委員長 遠藤 要

参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、今期国会
における本委員会関係の内閣提出予定法律案につ
いて宮澤内閣官房長官から説明を、総理府関係の
施策に関する件及び昭和五十七年度内閣及び総理
府関係予算について田邊総理府総務長官から所信
と説明を、行政官庁の基本方針に関する件につ
いて中曾根行政官庁長官から所信を、昭和五十
七年度皇室費について政府委員から説明を、それ
ぞれ聴取したほか、世論調査に関する件、給与費の
制度に関する件、生涯賃金に関する件、給与費の
財源一パーセント問題に関する件及びウタリ対策

に関する件等について田邊総理府総務長官、中曾
根行政官庁長官、伊藤防衛庁長官、藤井人事院
総裁、政府委員、北海道開発庁、厚生省及び自治
省当局に対し質疑を行った。

なお、同問題に関する小委員会を設置し、調
査を行った。

閉会後は、国の地方支分部局及び国家公務員制
度の実情調査のため沖縄県に委員を派遣するほ
か、資料の収集等に努めたが、本件は、その対象
が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至ら
なかつた。

調査報告書

国の防衛に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

内閣委員長 遠藤 要

参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、防衛庁の
基本方針に関する件について伊藤防衛庁長官から
所信を、昭和五十七年度防衛庁関係予算に関する
件について政府委員から説明を、それぞれ聴取し
たほか、極東有事研究の内容、F4の試改修問
題、潜在的脅威の増大と防衛大綱との関係、五
六中業とGNP比一パーセントとの関係等につ
いて伊藤防衛庁長官、政府委員、外務省、厚生省、
運輸省、海上保安庁及び日本国有鉄道当局に対し
質疑を行った。

閉会後は、自衛隊の業務運営の実情調査のため
沖縄県に委員を派遣するほか、資料の収集等に努
めたが、本件は、その対象が広範多岐にわたるた
め、調査を終了するに至らなかつた。

調査報告書

地方行政の改革に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日
地方行政委員長 上條 勝久
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、地方行政の改革に関する調査の一
環として、第九十六回国会開会中において、左記
事項に關し、世耕國務大臣及び関係府当局から
説明を聴取し、質疑を行い、同国会閉会後におい
ては、山口、広島並びに高知、徳島の各県に委員
派遣を行う等調査を進めたが、その対象が広範多
岐にわたつてゐるため、調査を終了するに至らな
かつた。

記

- 一、地方行政、消防行政、警察行政等の基本施
策に関する件
- 一、昭和五十七年度の地方財政計画に関する件
- 一、ホテル・ニュージャパンの火災に関する件
- 一、地方行政に関する件
- 一、消防に関する件
- 一、警察に関する件

調査報告書

検察及び裁判の運営等に関する調査(継続事
件)
右の件については、調査を終わらなかつた。よ
つて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

法務委員長 鈴木 一弘

参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において、
法務行政の基本方針について坂田法務大臣から所
信を聴くとともに、刑法改正、難民の認定・対
策、ロッキード裁判、刑務所における精神障害者
の処遇等の諸問題について坂田法務大臣、政府委
員、厚生省、建設省、内閣官房、警察庁及び最高
裁判所当局に対し質疑を行った。

また、同国会閉会後においては、秋田県・岩手
県及び福井県・石川県の二方面に委員を派遣し

て、司法行政及び法務行政に関する管内概況並びに裁判所及び法務省関係の庁舎施設及び宿舍の管理状況等の調査を行うとともに、引き続き関係資料の収集、検討等を行ったが、その対象が広範多岐にわたるため本件調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

国際情勢等に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

外務委員長 稲嶺 一郎
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、日仏科学技術協力問題、経済・貿易摩擦問題と国際経済の円滑な運営に関する問題、アジア諸国との科学技術協力問題、国連海洋法会議に関する問題、科学技術協力の進展と外務省の機能強化に関する問題、宇宙開発と国際関係に関する問題、シーレーン防衛問題、北方領土におけるソ連の軍備増強問題、ミッドランダム大統領訪日に関する問題、外交の基本姿勢に関する問題、軍縮問題、日米航空交渉問題、対外経済協力問題、日韓経済協力問題、外交体制に関する問題、日米安保体制に関する問題、フョークランド諸島の紛争解決に関する問題、教科書検定問題に係る近隣諸国との外交関係に関する問題、対ソ経済措置に関する問題等について、内外務大臣の見解をたずねるとともに、政府委員、外務省、科学技術庁、郵政省、防衛庁及び文部省当局に対し質疑を行う等の調査を行った。

次いで、閉会後においては、資料の収集等に努めたが、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

租税及び金融等に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十八年一月二十一日 参議院会議録追録

昭和五十七年十一月二十五日

大蔵委員長 河本嘉久蔵
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において、財政及び金融等の基本施策に関して大蔵大臣より所信を聴取するとともに、昭和五十七年度経済見通しと景気動向、歳入欠陥下の財政再建の方途、税収見積りのあり方、円安とアメリカ高金利政策との関係、昭和五十八年度予算編成方針、グリーンカード制度実施を巡る諸問題等について、大蔵大臣、関係当局及び参考人に対し、質疑を行い、近畿地方への委員派遣による実情調査並びに金融事情及び専売事業等に関する実情視察を行ったほか、各種調査資料の収集に努めた。

次いで、閉会後においても、委員を北海道及び四国地方に派遣して実情調査を行ったほか、資料の収集検討に努めたが、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

教育、文化及び学術に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

文教委員長 片山 正英
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において、教育、文化及び学術に関する調査に関し、文部大臣の所信表明、外交問題に発展した教科書検定その他の教科書問題、学級編制及び教職員定数の改善、校内暴力・青少年非行対策と教員の資質向上策、公立文教施設の整備、高校等の受験地獄解消策、育英奨学事業と私学助成の拡充の必要性、海外・帰国子女の教育と教育・学術等の国際交流の促進等の諸問題について、文部省等関係当局に対して質疑を行うとともに、東京国立近代美術館、国立

西洋美術館及び東京国立博物館の視察を行った。

また、同開会中においては、引き続き資料の収集等を行うとともに、実地調査のため、奈良県・大阪府・京都府及び福井県・石川県との二地方に対し委員派遣を行ったが、本調査はその対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

社会保障制度等に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

社会労働委員長 目黒今朝次郎
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において次の事項について調査を行い、また同国会開会中及び閉会後において関係資料を収集する等鋭意調査に努めたが、問題が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかった。

調査事項

一、厚生行政の基本施策に関する件
なお、開会中、老人保健事業の実情を調査するため、愛知県及び静岡県に委員を派遣するとともに、閉会後においても、地域医療の実情を調査するため、秋田県及び宮城県、福岡県及び佐賀県に委員を派遣した。

調査報告書

労働問題に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

社会労働委員長 目黒今朝次郎
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において次の事項について調査を行い、また同国会開会中及び閉会後において関係資料を収集する等鋭意調査に努めたが、問題が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかった。

調査事項
一、労働行政の基本施策に関する件
一、仲裁裁定の早期実施等に関する件
一、不況下での雇用対策に関する件
一、ハイヤー、タクシー業界の嘱託・アルバイト乗務員問題に関する件
一、雇用、失業情勢の悪化問題に関する件
一、定時制、通信制課程卒業生の就職問題に関する件

一、賃金不払い問題に関する件
一、賃金、退職金原資保全の保証措置に関する件
一、雇用条件における男女差別に関する件
一、臨調基本答申中の労働問題の扱いに関する件
一、障害者の雇用対策に関する件
なお、開会中、産業用ロボットの導入の実態等の実情を調査するため、愛知県及び静岡県に委員を派遣するとともに、閉会後においても、最近の雇用・失業の動向及び当面の雇用対策を調査するため、秋田県及び宮城県、福岡県及び佐賀県に委員を派遣した。

調査報告書
農林水産政策に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

農林水産委員長 坂元 親男
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要
本委員会は、第九十六回国会開会中において、昭和五十七年度の農林水産省関係の施策に関する件について農林水産大臣から所信を聴いたほか、昭和五十七年度指定食肉及び加工原料乳の価格算定等に関する件、農畜水産物の輸入自由化問題に関する件、昭和五十七年産生産者米価に関す

昭和五十八年一月二十一日 参議院會議録追録
調査報告書(継続事件)

る件等について調査を行った。なお、農畜水産物の輸入自由化反対に関する決議を行った。
同開会後は、宮崎・大分両県及び宮城・岩手両県にそれぞれ委員を派遣し、農林水産省の実情調査を行うとともに、当面の農林水産行政に関し、資料を収集する等鋭意調査に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

産業貿易及び経済計画等に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日
参議院議長 徳永 正利殿
商工委員長 降矢 敬雄

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、通商産業政策の基本施策に関する件、経済計画等の基本施策に関する件、経済摩擦問題等に関する件、景気対策に関する件、大規模小売店舗出店規制強化に関する件、グリーンカード制度に関する件、鹿島臨海工業地帯内の鹿島石油株式会社鹿島製油所における爆発事故に関する件、湖沼水質保全特別措置法案(仮称)に関する件、中小企業の経営指導員に関する件、金取引に関する件、先端技術産業に関する件等について政府関係者に質疑を行うとともに、鹿島石油株式会社鹿島製油所における爆発事故の実情調査のため委員を派遣した。また、石炭鉱業の保安確保と北炭問題に関し決議を行った。閉会後は、北炭夕張炭鉱株式会社経営問題に関する件、ダイセル化学工業株式会社堺工場における爆発事故に関する件等について政府関係者及び参考人に質疑を行い、また地場産業及び水力発電の実情調査のため、中部地方に委員を派遣したほか、資料の収集整備に努める等鋭意調査を進めてきたが、調査の内容が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかった。

調査報告書
運輸事情等に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日
参議院議長 徳永 正利殿
運輸委員長 桑名 義治

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において、運輸行政の基本施策に関して、運輸大臣から所信を、昭和五十七年度運輸省及び日本国有鉄道の予算に関して政府委員から説明を、羽田沖における日本航空機墜落事故に関して政府委員から報告をそれぞれ聴取したのち、日本航空機羽田沖墜落事故、日本航空の管理体制、国鉄名古屋駅迫突事故、国鉄の事故等の処分問題、国鉄再建問題、臨時行政調査会の基本答申、国鉄貨物輸送問題、自動車貨物輸送秩序改善問題、国鉄の新規採用中止問題等について質疑を行った。
また、国鉄問題に関する小委員会を設置した。閉会後においては、福岡県、宮崎県、石川県、富山県及び新潟県に委員派遣を行ったほか、資料の収集等鋭意調査に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

郵政事業及び電気通信事業の運営並びに電波に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日
参議院議長 徳永 正利殿
通信委員長 八百板 正

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において、郵便事業財政の現状と見直し、電子郵便実験サービスの性格、郵政事業職員の週休二日制実施の促進

進、データ通信の回線開放、日本電信電話公社の経営形態、文字多重放送の実用化、国際放送の拡充強化等の諸問題につき、関係当局および参考人に對し質疑を行ったほか、電波研究所、武蔵野電気通信研究所、KDD研究所等の視察を行った。
また、同国会閉会後においては、北海道および九州地方に委員派遣を行つて所管業務に関する実情を調査するとともに、関係資料を収集する等鋭意調査に努めたが、本件は、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

建設事業並びに建設諸計画に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日
参議院議長 徳永 正利殿
建設委員長 片岡 勝治

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、建設行政、国土行政及び北海道総合開発の基本施策について、始閣建設大臣、松野国土庁長官兼北海道開発庁長官からそれぞれ所信を聴くとともに、建設省及び国土庁関係提出予定法律案について政府当局から説明を聴き、建設行政、国土行政及び北海道総合開発の基本施策に関する件について、建設大臣、国土庁長官及び政府当局に對し質疑を行ったほか、昭和五十七年七月及び八月豪雨災害について国土庁長官及び建設大臣から報告を聴取した。
また、同開会中、建設事業並びに建設諸計画に関する実情調査のため、愛媛、高知の両県に委員派遣を行ったほか、関係資料の収集等鋭意調査に努めたが、本調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

予算の執行状況に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかった。よ

つて経過の概要を添えて報告する。
昭和五十七年十一月二十五日
参議院議長 徳永 正利殿
予算委員長 植木 光教

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において、予算の執行状況に関する件について、鈴木内閣総理大臣及び関係各大臣等に對し質疑を行った。なお、所得税・住民税減税問題に関する決議を行った。
閉会後は、北海道、愛知県、岐阜県に委員を派遣して、現地調査を行つたほか資料の収集に努めたが、本件の対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日
参議院議長 徳永 正利殿
決算委員長 竹田 四郎

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中及び同国会開会中、表記の件に関し、昭和五十四年度決算及び昭和五十五年度決算の審査と並行し、鋭意資料の収集あるいは委員派遣を行う等、調査を進めてきたが、本件は、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

災害対策策立案に関する調査(継続事件)
右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日
参議院議長 徳永 正利殿
災害対策特別委員長 福岡 知之

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、昭和五十七年度防災関係予算に関する件、昭和五十七年浦河沖地震による災害に関する件、昭和五十七年七月九州地方の集中豪雨による被害及び台風第十号による被害に関する件について国土庁長官及び関係府当局から説明を聴取し質疑を行うとともに、東京都の処理問題、ホテル火災予防対策、秋田空港における自衛隊の救難隊配備問題、静岡駅前ガス爆発事故の原因調査に関する件等について国土庁長官及び関係府当局に対し質疑を行った。

また、昭和五十七年七月九州地方の集中豪雨による被害に関する実情調査のため長崎県及び熊本県に委員派遣を行った。

同閉会後は、関係資料を収集する等鋭意調査に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

当面の物価等対策樹立に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

物価等対策特別委員長 片山 基市
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中において、物価対策の基本方針について河本経済企画庁長官から、公正取引委員会の物価対策関係業務について橋口公正取引委員会委員長から、それぞれ説明を聴取するとともに、当面の物価問題等について経済企画庁長官、公正取引委員会、通商産業省、資源エネルギー庁、郵政省、建設省及び日本銀行等関係当局に対し質疑を行った。

次いで、閉会後においては、委員を兵庫県及び大阪府に派遣して、物価及び消費者行政について実地調査を行ったほか、適宜関係資料の収集に努

めたが、調査の対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

公職選挙法改正に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

公職選挙法改正に関する特別委員長 上田 稔
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、公職選挙法の改正について質疑を行い、同国会閉会後においては、資料の収集等に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

科学技術振興対策樹立に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

科学技術振興対策特別委員長 中野 明
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、科学技術庁長官より、科学技術振興のための基本施策について説明を聴取し、原子力発電所の立地に関する件、核燃料サイクルとプルトニウムの利用に関する件、国際科学技術博覧会に関する件、科学技術行政及び予算のあり方に関する件、科学技術振興調整費の運用方針に関する件、原子力船「むつ」に関する件及び遺伝子組み換えに関する件等について、科学技術庁長官、政府関係当局及び参考人に対し質疑を行った。

また、閉会後は、科学技術振興対策樹立に関する調査のため、中部・近畿・中国地方に委員を派遣するとともに、資料を収集整備する等鋭意調査を進めてきたが、調査の内容が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかった。

る調査のため、中部・近畿・中国地方に委員を派遣するとともに、資料を収集整備する等鋭意調査を進めてきたが、調査の内容が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかった。

調査報告書

公害及び環境保全並びに交通安全対策樹立に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

公害及び交通安全対策特別委員長 宮之原貞光
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本委員会は、第九十六回国会開会中、公害及び環境保全並びに交通安全対策に関し、志布志石油基地建設、湖沼法案の取扱い、大阪空港騒音公害訴訟判決、ナイロビ国連環境計画特別会合、ばいじん環境基準改定、東北新幹線騒音及び空き缶散乱対策のほか羽田日航機墜落事故、車検制度改正等の諸問題について政府に対し質疑を行った。特に、湖沼問題については、参考人の出席を求めて意見を聴取した後「湖沼環境保全対策の促進に関する決議」を行った。

また、車検制度の運用状況等について現地視察、さらに同国会開会中(沖縄県)及び閉会後(宮崎県、鹿児島県)においてはそれぞれ委員派遣を行ったほか、資料の収集等鋭意調査に努めたが、問題が広範多岐にわたるため、結論を得るに至らなかった。

調査報告書

エネルギー対策樹立に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

エネルギー対策特別委員長 森下 泰
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本特別委員会は、第九十六回国会開会中、エネルギー対策の基本施策に関する件について安倍通商産業大臣及び中川科学技術庁長官から所信を聴取し、昭和五十七年度エネルギー対策関係予算に関する件について政府委員及び関係府当局から説明を聴いた。次いで、エネルギー対策樹立に関する件について安倍通商産業大臣、政府委員及び関係府当局に対し、核融合・木質エネルギー問題に関する件について政府委員、関係府当局及び参考人に対してそれぞれ質疑を行った。

なお、LNG基地の実情調査のため千葉県に現地視察を行った。

また、エネルギー対策樹立に関する件について調査報告書を議長に提出した。

閉会中においては、エネルギーに関する諸問題の実情調査のため、広島県・岡山県・大阪府及び香川県・愛媛県の両地方に対し委員派遣を行った。

右のほか、開会中及び閉会中、関係資料の収集等鋭意調査に努めたが、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

調査報告書

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

沖縄及び北方問題に関する特別委員長 大鷹 淑子
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本特別委員会は、第九十六回国会開会中、昭和五十七年度沖縄及び北方問題に関する施策について田邊国務大臣及び櫻内外務大臣から所信を聴取したほか、左記事項等に関し田邊国務大臣、櫻内外務大臣及び関係府当局に対し質疑を行った。

次いで、閉会後においては、北方領土周辺地域の実情調査のため、北海道へ委員派遣を行うと

5キナB8-49

昭和五十八年一月二十一日 参議院会議録追録

もに、資料の収集に努めたが、その対象が広範多岐にわたっているため、調査を終了するに至らなかった。

記

- 一、第一次沖縄振興開発計画の実績と第二次振興開発計画の構想に関する件
- 一、沖縄の水資源及び電力・エネルギーに関する件
- 一、沖縄の雇用対策と産業振興に関する件
- 一、那覇新港の整備に関する件
- 一、沖縄の観光施設整備に関する件
- 一、沖縄国体の用地取得問題に関する件
- 一、中城港開港に伴う漁業補償問題に関する件
- 一、沖縄の基地問題に関する件
- 一、北方領土返還交渉に関する件
- 一、北方領土問題等の解決の促進の特別措置に関する件
- 一、北方水域における漁業問題に関する件
- 一、海上捜査救難に関する国際条約加盟問題に関する件

調査報告書

国の安全保障に関する調査(継続事件)

右の件については、調査を終わらなかった。よつて経過の概要を添えて報告する。

昭和五十七年十一月二十五日

安全保障特別委員長 加藤 武徳
参議院議長 徳永 正利殿

経過の概要

本特別委員会は、第九十六回国会開会中、国の安全保障について櫻内外務大臣及び伊藤防衛庁長官から所信を聴き、昭和五十七年度防衛予算について政府委員から、また、「五六中業」について伊藤防衛庁長官からそれぞれ説明を聴いたほか、専守防衛政策に関する件、防衛予算に関する件、防衛計画の大綱に関する件、「五六中業」に関する件、日米安保事務レベル協議に関する件、対米軍事技術協力に関する件、日米共同訓練に関する件、アジア情勢と外交政策に関する件、米ソ核軍縮交渉に関する件、近隣諸国との平和友好関係の

調査報告書(継続事件)

維持と教科書検定問題に関する件等について、櫻内外務大臣、伊藤防衛庁長官、宮澤内閣官房長官、政府委員、外務省、通商産業省、国土庁、経済企画庁及び海上保安庁当局に対し質疑を行うとともに、自衛隊の実情調査のため、視察を行った。

次いで、閉会後においては、「防衛白書」に関する件、「ハリネズミ防衛論」とわが国の防衛体制に関する件、防衛予算に関する件、日米安保事務レベル協議に関する件、シーレーン防衛問題に関する件等について、伊藤防衛庁長官、外務省、大蔵省及び防衛庁当局に対し質疑を行ったほか、自衛隊の実情調査のため、北海道及び長崎県に委員派遣を行う等の調査を進めてきたが、本件は、その対象が広範多岐にわたるため、調査を終了するに至らなかった。

発行所
東京都港区虎ノ門二丁目二番四号
大蔵省印刷局 干 106
電話 東京 五二二二(大代)
定価 一〇〇円
(送料別)